

# 視察の町から

地方は第4部

2

徳島県上勝町の葉っぱビジネスは思わぬ効果を上げている。「とにかく高齢者の笑顔が印象的だ」。町を訪れた視察者は一様にそう語る。自然の中で地域の資源を生かして働き、認められる。それが生きがいや誇りを育んでいる。

コピーライターの糸井 町を知りたいと、今年7月、再び足を運んだ。

「はほ日刊イトイ新聞」でおばあちゃんたちは仕事の話になると止まらな

い。笑顔のわけに合点が

あった。「働いて役に立

つことが楽しくて仕方ないんだ」

「明日は力キが高くなる

ね」。相場を読み、値の

高い葉っぱを選ぶ。

「息子が会社を辞めて

一緒に働くことが夢やった」。笑

顔がはじけた。日吉健吾撮影

「いろいろ おばあちゃんたちの葉っぱビジネス」。上勝の高齢者の笑顔が掲載されている。本の帯に撮影中のおばあちゃん、こんな言葉がつけられている。「世界中探したって、こんな楽しい仕事はないよ」

が84歳になる針木ツネコさんだ。

もうひとつ、必ず見ることが出荷農家の中での販売の順位だ。「これを見るのが楽しみ。負けと

うない人が4、5人おる。明日も頑張ろうと思

うんよ」

翌日の準備をすませ、

仕事が終わるのは毎日夜

「いろいろ」副社長の

午後5時、必ずついてくる

日本料理を飾る「つま

もの」。20年前に始まった

上勝町の出荷はいまや

全国の7割のシェアを占

める。出荷農家は190

軒。平均年齢は70歳だ。

## 生きがい広がる笑顔

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

4世代7人で暮らす。

町の第三セクターに就職

してリターンした孫のため

に、稼いだお金で離れの

新築費用を援助した。

「息子さんが会社を辞めて

一緒に働くことが夢やった」。笑顔がはじけた。日吉健吾撮影

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の

「いろいろ」副社長の



モミジを摘む農家。「息子と一緒に働くことが夢やった」。笑顔がはじけた。日吉健吾撮影

「自分が「主役」と思える仕事がある。どんな福祉行政よりも高齢者の健康を支えている」。多田教授の分析だ。

政府が8月に発表した06年版「高齢社会白書」は、昨年20%を超えた高齢化率が50年には35・7%に達すると予測。高齢者

が能力や経験を生かして、一層活躍できる社会の実現が不可欠。そう指摘している。

写真家の立木義浩さんの実家で、NHK朝の連続ドラマ「なっちゃんの写真館」のモデルでもある立木写真館(徳島市)が10月に発行した写真集が市内の書店でベストセラーを続けている。

「いろいろ おばあちゃんたちの葉っぱビジネス」。上勝の高齢者の笑顔が掲載されている。本の帯に撮影中のおばあちゃん、こんな言葉がつけられている。「世界中探したって、こんな楽しい仕事はないよ」